

令和二年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、六ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

本文省略

本文省略

本文省略

(松木武彦『進化考古学の大冒険』(新潮社二〇〇九)による)

問一 傍線部①に「理由をつかみたい」とあるが、筆者はどのようにすればその理由を説明することが可能だと考えているか。本文に即して説明しなさい。

問二 傍線部②に「何か別の要因があるにちがいない」とあるが、その要因はどのようなことか。本文に即して説明しなさい。

問三 傍線部③の「痕跡器官(ルーディメント)」とは何か。フォームとスタイルの二語を用いて説明しなさい。

問四 傍線部④に「ここまで述べたことを整理しておこう」とあるが、この文より前の本文を二つに分けるとすると、後半の部分はどこから始まるか。最初の五文字を書きなさい。またそこで区切る理由を説明しなさい。

問五 傍線部⑤に「スタイルは、モードの変化を脈動としてはらみながら存続している」とあるが、どういうことか。スタイルとモードについて本文中の例を挙げながら、説明しなさい。

問六 この文章の趣旨を踏まえた上で、フォームとスタイルの違いについて、住居を例に二百字以内で説明しなさい。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 自宅の シキチ で遊ぶ。
- ② サワ やかな香り。
- ③ 企業経営者と学生との コンダン。
- ④ 制限を カンワ する。
- ⑤ 生徒を インソツ する。